

外国語科目(日本語)

受験番号
ME

以下の全ての問題に答えなさい。

問題一 () に入るもつとも適切な語を選び、カッコ内に記入しなさい。

(一) プロジェクトに行き詰まったら、早いうちに専門家の助言を () のがよい。
1 仰ぐ 2 拝む 3 被る 4 召す

(二) コーチの厳しすぎる指導は選手の持ち味や長所を () てしまうことがある。
1 害し 2 削り 3 殺し 4 傷め

(三) 品質の良い道具というのは日々の手入れ、つまり () をしっかりすれば長持ちするものだ。
1 デイフェンス 2 メンテナンス 3 ガバナンス 4 アロウワンス

(四) 人に質問をするときは、まずはじめに自分の名前を名乗るのが () というものだ。
1 筋 2 理 3 節 4 道

(五) 日が暮れて急に気温が下がってきたね。なんだか、雪が () そうだよ。
1 降っている 2 降り 3 降る 4 降らん

問題二 () に入るもつとも適切なひらがなをカッコ内に記入しなさい。それぞれの字数は2字までである。

(一) 明日の研究会の準備、誰 () 手伝ってくれませんか？

(二) 震災で、このあたりの町の様子もすっかり変 () てしまいました。

(三) 駅までの道を尋ね () にも、こちらへんは人も車も通らない。

(四) 佐藤さんに贈る花束はもう買っ () るので大丈夫です。

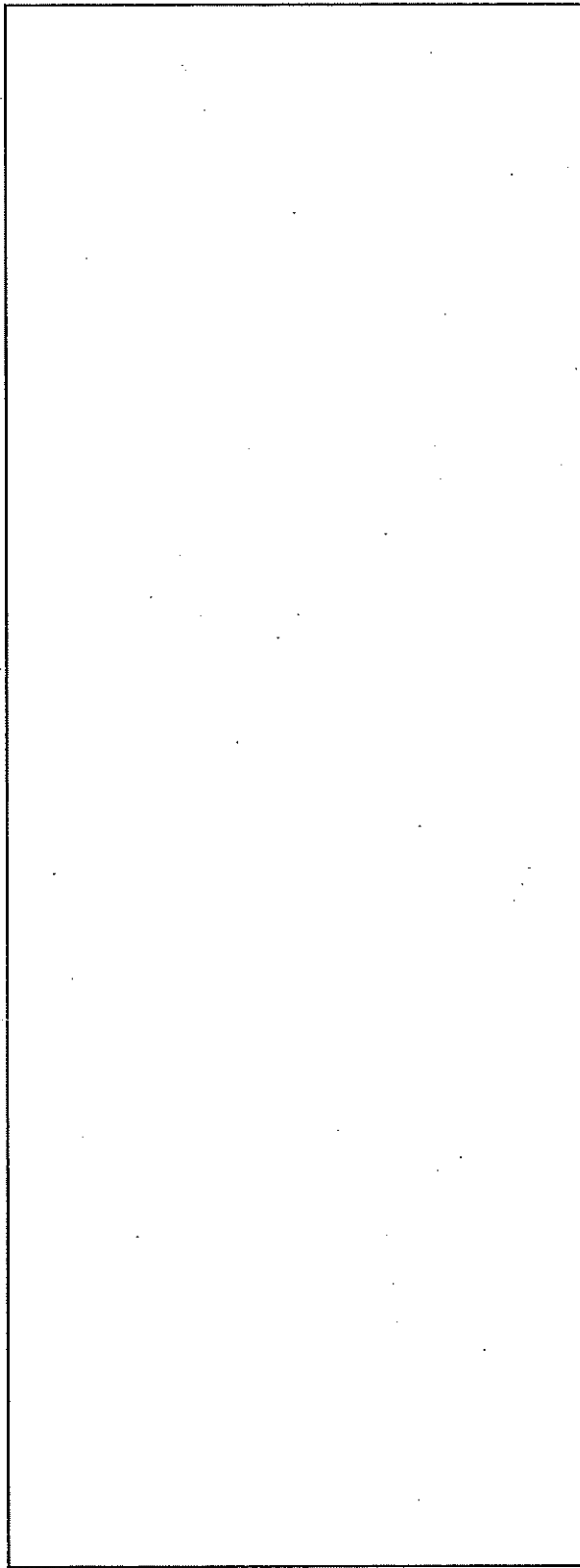
(五) 税金のことで聞きたいんだけど「控除」って何？ ああ、それは「 () じょ」って読むんだよ。

問題三

次の〈状況〉をよく読み、問題解決のために何をどのように伝える必要があるか考え、その表現を作文して枠内に書きなさい。

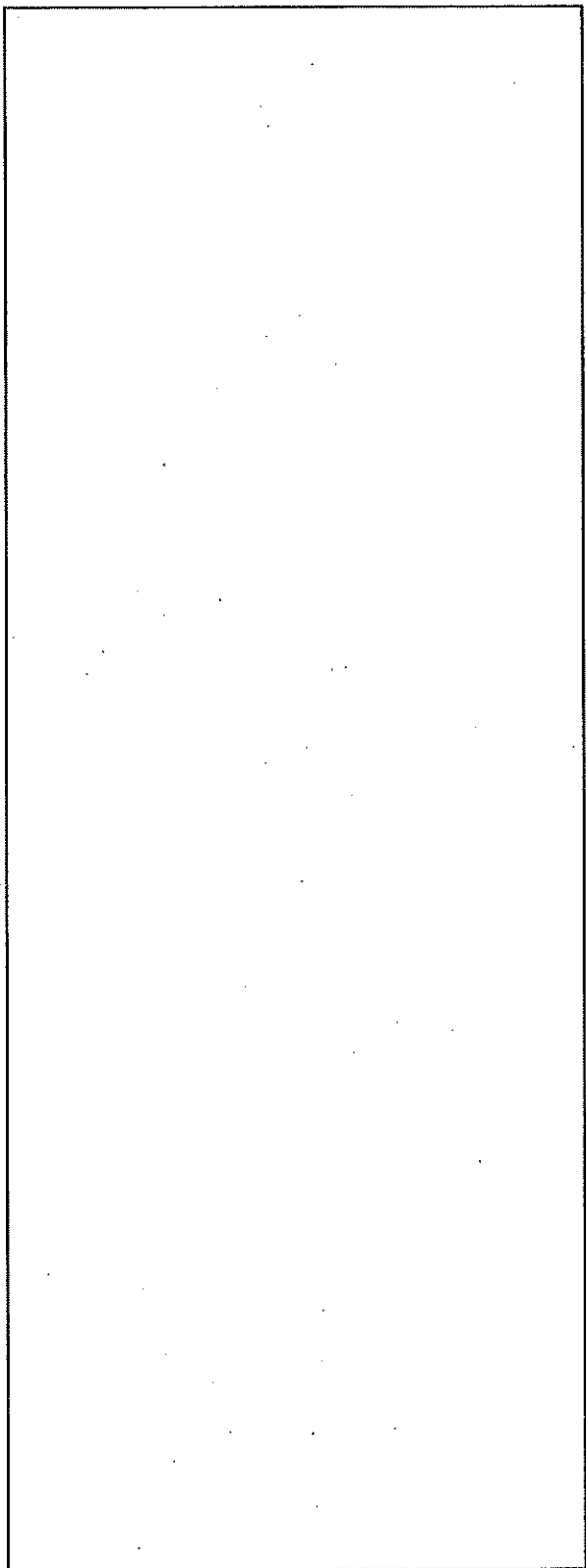
〈状況1〉

あなたはF大学のU先生にアポイントを取っていたが、事故の影響で電車が止まってしまった。このままでは約束の間には間に合いそうにない。U先生の連絡先はわからないが、F大学の事務室の電話番号ならわかる。……



〈状況2〉

次のゼミ発表のために先行研究について尋ねると、先生はすぐに論文をメールで送ってくださいました。しかし、添付された論文はあなたがお願いしていたものとは別の論文のようだ。……



問題四 問題文は、後藤晃『イノベーション』の一部分です。この問題文をよく読んでから、問一と問二に答えなさい。

大学はイノベーション・システムの中できわめて重要な役割を担っている。一つは教育、もう一つは研究である。この二つが大学という一つの組織の中で同時に行われているところが大学の本質である。大学では学生を教育し、新たな知識を学んだ学生を社会へ送り出す。新しい知識や広い教養を身に付けた学生が産業界に雇用されることによって、産業の活動も活発化し高度化する素地を築くことができる。産業界が大学に最も期待することも、「学生をきちんと教育して社会へ送り出してください」ということである。実際、経団連は「今回の文部科学大臣通知は即戦力を有する人材を求める産業界の意向を受けたものであるとの見方があるが、産業界の求める人材は、その対極にある」というコメントを出し、幅広い教養、課題発見・解決力、外国語によるコミュニケーション能力、自らの考えや意見を論理的に発信する力、などが理系・文系を問わず、欠くことができない、としている。

さらに大学が研究により新たな知識を生み出していくことは、大きな産業への貢献となる。大学で生み出された知識が企業で実用化され産業化されていくという例も少なくない。これは重要な貢献であるが、むしろ大きいのは産業で技術開発を行う際に遭遇する様々な課題を解決するに際して、

【次のページに続く】

【前のページの続き】

大学において生み出された知識が大きな役割を果たす、という点にある。このような知識は、産業で行われている研究開発に対して取るべき方向性を示し、より効果的に研究開発が行われるようになることに貢献する。大学はそのような知識を生み出し、それをだれにでも利用できるようにプールしておく場である。絶え間ない研究によりプールは常にフレッシュで豊かな知識を蓄えたものとなる。この知識のプールは広く開かれたものであり、だれでもそこから知識をくみ出すことができる。

研究の成果を論文として発表していくことも重要である。論文とは、研究者から他の研究者や社会全体に対するメッセージである。大学の研究者の書いた論文が知識を運ぶ。このような知識の中には、さらなる研究開発を行うことによってやがて新製品、新製法として産業化につながるものもある。また、上に述べたように、どのような領域に研究開発の努力を集中すればいいかを教えてくれることにより、企業の研究開発をより効果的に行うことを可能にする知識もある。さらに、論文を発表することは、どこにどのような研究者がいて、どのような研究をしているのかを社会に知らせる役割を持っている。大学の研究者の書いた論文がきっかけとなり、企業がその研究者に接触し産学の共同研究や委託研究が始まったりもする。論文ではなく特許を取得することが産業に対する主要な貢献であるかのようにみなすのは大きな誤りである。論文と特許は相補的な関係にある。実際、産業にとって有用な研究は、そのほとんどが学問研究としても高く評価されているのである。また、大学における研究の過程で、新たな装置や器具が開発され、それが企業における研究開発において役立つこともある。

(中略)

大学の教育、研究という本来的な機能をよく果たしていくことが、結果的には何よりも、産業にとって重要な役割を果たし、産業のイノベーションに貢献するのである、ということをしつかりと認識する必要がある。近年では、教育、研究に加えて、産学連携ということが強調されるように

【次のページに続く】

【前のページの続き】

なった。そこでは大学が特許を取得すること、大学発のベンチャー企業を生み出すこと、などが強調されるようになった。大学の研究の産業化においては、知的財産権が安定的に確保できていることは重要である。また、大学発のベンチャー企業には、大学の持つ技術を産業化する手段の一つとして重要な意味がある。また学生の進路として大手のメーカーに勤めることがかつてのように魅力的な選択肢ではなくなっているだけに、ベンチャー企業が新たなキャリア・パスを提供することは大変に望ましいことであり、おおいに歓迎されるべきことである。これらは、大学の知識を産業や社会のために役立てていくための手段の一つとして、それぞれ重要である。

まず、どのような制度・手段を用いれば、またどのように手段・制度を設計すれば、大学の知識が最も効果的に社会や産業に貢献できるのか、ということを考えていく必要がある。その際には、すでに述べたように、教育と研究という大学の本来的使命をきちんと果たしていくことが産業や社会全般に貢献する。大学と産業、さらには社会との間には多様な双方向の知識のやりとりが行われている、ということをまず確認し、そのうえでどのような手段や方策があるかを考えていくことが必要である。その場合の基本的な視点は、繰り返しになるが、教育と研究をより充実させていく手立てを考えることが何よりも重要である。

大学が優れた研究を行い、きちんとした教育を行うことにより、長期的に産業は発展し、雇用が生まれていくことが望ましい。大学の研究者にとっても自分の研究が実際に産業化され、世の中の役に立っていることは何よりも励みになるし、産業界の問題の解決に貢献する中で新たな研究テーマが見つかることもある。実際、産業界から提起された問題の解決に大学の研究者が取り組む過程で新たな研究テーマが見出され、新たな研究分野が発展していくこともある。大学と産業界との間の交流は、このように双方向的で多様で豊かなものである。大学の特許はこのような広い産学の交流の中の一つであり、全体像を見失わないでこれを進めていくことが必要である。

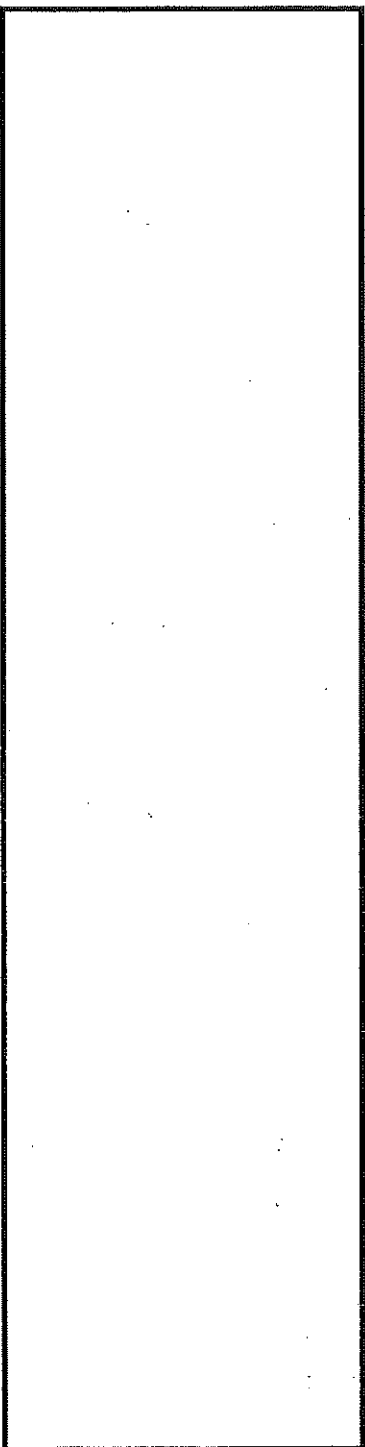
(後藤晃『イノベーション』(東洋経済新報社二〇一六年)より一部抜粋)

【次のページに続く】

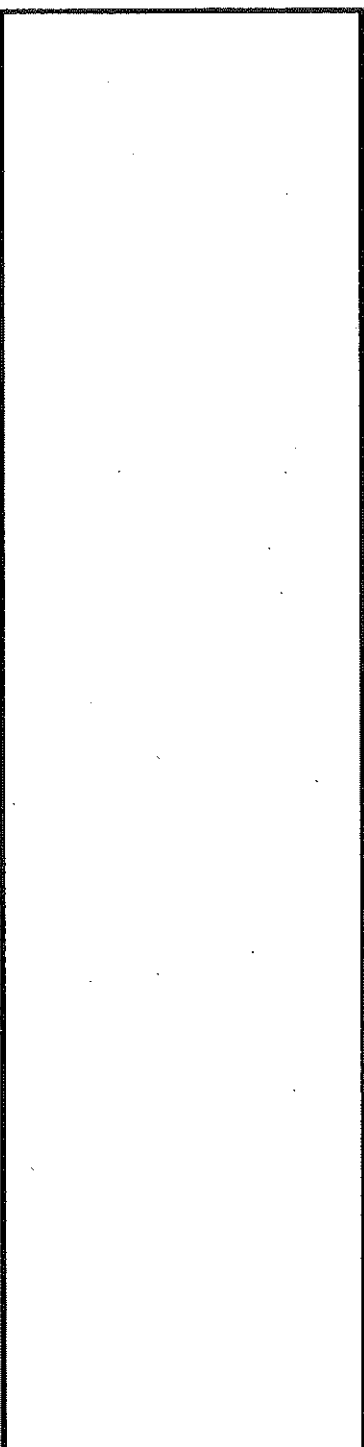
【前のページの続き】

問一 A～Dの文は、それぞれ問題文の趣旨とは違う点があります。どのような点が、どのように違っているのか、説明しなさい。

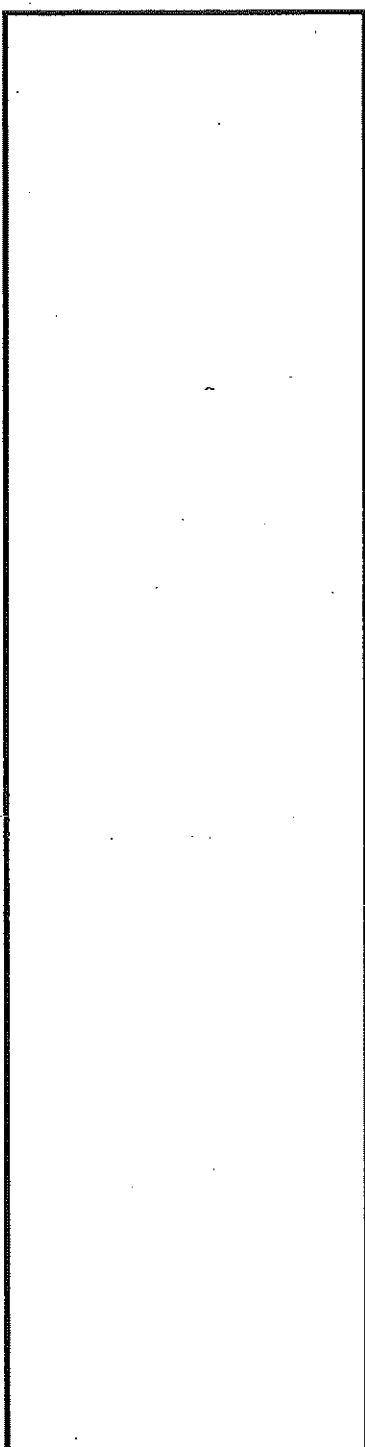
A 新しい知識や広い教養を身に付けた学生は即戦力を有する人材ではない。



B 産業で技術開発を行う際に遭遇する様々な課題を解決する知識を大学は常に蓄えている。



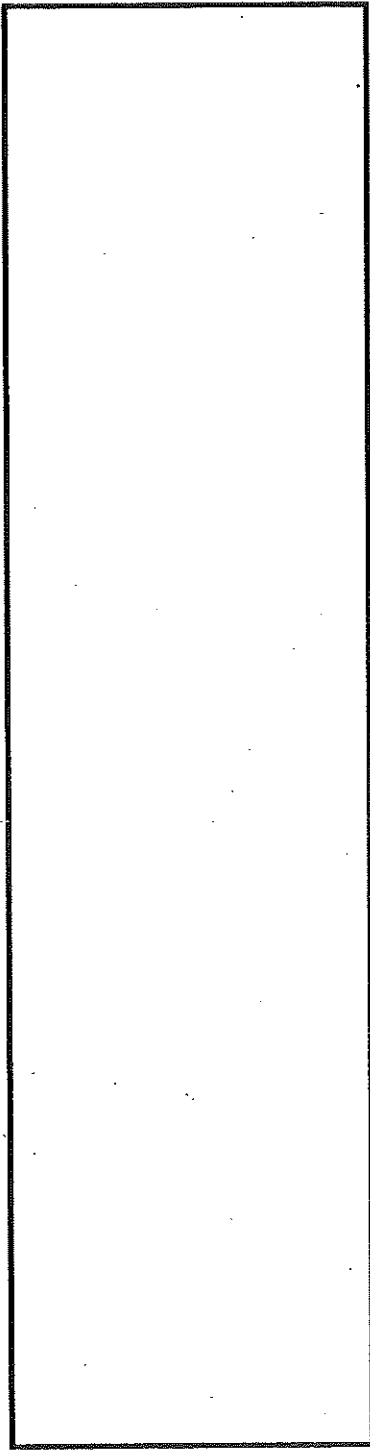
C 大学が特許を取得することは産業に対する貢献ではない。



【次のページに続く】

【前のページの続き】

D 大学の知識を産業や社会のために役立てていくための手段として産学連携は最も重要である。



問二 問題文の要旨を、別紙原稿用紙に、三〇〇～四〇〇字でまとめなさい。

【以上】